



## 湯浅陸雄氏が環境大臣表彰を受賞

永年自然保護に取り組む、湯浅陸雄氏（70歳、内牧1区）が平成22年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞し、4月29日新宿御苑において、小沢環境大臣より表彰状が授与されました。

湯浅氏は、阿蘇北外輪山の動植物保護及びパトロールや、自然の大切さを訴え、阿蘇の自然・歴史文化を調査、特に草原の湿地・原野を悠久に守る野焼きの大切さを訴え続けています。

阿蘇ホテルの会では「1年1研究」を掲げ、平成12年度から、10年間の調査発表をする等、多岐にわたり惜しみなく知識と行動力を発揮され、阿蘇地域の自然、そして人々に多大な影響を与えています。



◀小沢環境大臣（左）と湯浅氏（会場にて）

【主な経歴】 阿蘇ホテルの会会長、自然公園指導員、阿蘇の自然を愛護する会副会長、阿蘇市自然環境審議委員、内牧活性化座長、花原川・湯山東公園整備事業事務局長



## トーチランナーが阿蘇市を訪問

国際交流と国際理解を目指し、国境を越えた友情を育むメッセージを込めたトーチを持ってリレーでつなぎ、世界を走る「ワールドハーモニー・ラン」のトーチランナーが4月27日、阿蘇市を訪れました。

あそひかり幼稚園と黒川保育園を訪れたランナーは、汽車のように一列になってランナーの作るゲートをくぐるゴールデンゲートというゲームやダンスなどで園児たちと交流を深めました。

4月24日に広島をスタートしたランナーたちは、ユーラシア大陸を横断し、9月27日までにモスクワを目指し、12カ国20,000Kmを走ります。

## 今秋の国勢調査に向け実施本部を設置

阿蘇市では、今秋に行う「平成22年国勢調査」の実施本部を5月1日付けで設置しました。

実施本部は、調査の円滑かつ効率的な実施体制を整え、調査に万全を期するため、市長を本部長、副市長を副本部長に、庁内の課長級以上で構成し本部事務局を企画振興課内に設置。指導員20人、調査員143人を任命し、基準日となる10月1日の前後1週間程度で調査を実施します。

国勢調査は大正9年から5年ごとに実施。少子高齢化に対応するための基礎データや雇用形態（正規、非正規）の実態把握、地方交付税の算定などに利用されます。特に地方交付税は、各自治体間の財政のバランスをとり、自主的な行政を運営するために、非常に大きな役割を果たしています。阿蘇市においても、道路建設や福祉などのまちづくりに活かされています。

9月下旬には市内全世帯に調査員がお伺いします。調査へのご理解とご協力をお願いします。

※詳しいお知らせは、22ページに掲載しています。



▲国勢調査実施本部の看板を掲げる 佐藤本部長（右）、宮川副本部長（左）